

# 2023 年度 教育学会総会



期日：2023 年 5 月 11 日(木)

時間：受付 8：30～

開始 9：10～

場所：本学 60 周年記念講堂

大東文化大学文学部教育学科教育学会

# 目次

・ 2023 年度教育学会総会 プログラム	2
・ 第一号議案 2021 年度教育学会活動報告及び決算報告	
教育学会運営委員会	3 ~6
50 周年企画実行委員会	7~11
教育学会後援団体 大合宿	12~24
教育学会後援団体 球技	25~28
教育学会後援団体 コンサート	29~31
公開ゼミ活動・決算報告	32
・ 第二号議案 2022 年度教育学会活動計画及び予算案	
教育学会運営委員会	33~35
教育学会後援団体 大合宿	36~45
教育学会後援団体 球技	46~49
教育学会後援団体 コンサート及び共催実行委員会提案書	50~55
・ 第四号議案 運営委員会発行資料のデジタル化提案	56
・ 教育学会運営委員会 委員紹介	57~59

## 2023 年度教育学会総会プログラム

1. 開会宣言
2. 総会について
3. 第一号議案 2022 年度教育学会活動報告・決算報告  
(運営委員会、50 周年、大合宿、球技、コンサート)
4. 公開ゼミ報告
5. 第二号議案 2022 年度決算 会計監査報告
6. 第三号議案 2023 年度教育学会活動計画・予算案  
(運営委員会、大合宿、球技、コンサート)
7. 第四号議案 運営委員会発行資料のデジタル化提案
8. 質疑応答
9. 閉会宣言

## 2022 年度 教育学会運営委員会 活動報告

団体名	教育学会運営委員会		
委員長	学籍番号 氏名 E-Mail	20114001 柏 陽斗 s20114001@st.daito.ac.jp	
副委員長	学籍番号 氏名 E-Mail	20114118 深澤 蒼 s20114118 @st.daito.ac.jp	
構成員 (2022 年度)	3 年生 柏 陽斗	2 年生 傳馬 彩愛	1 年生 弓削 真波
	深澤 蒼	小室 衆吉	發知 里世音
	木村 俊介	大豆生田 愛生	木滝 大夢
	唐木 優里	和田 竜	磯谷 蓮
	川合 春乃	高原 凜	遠矢 春乃
	大塚 旦陽	林田 幹大	小川 祐哉
	白瀬 奈々	當山 陽那太	富田 実乃梨
	飯島 風人	古畑 歳景	杉澤 主税
	大熊 右智希		青木 栄斗
			種田 貴志
			山口 直

### 教育学会総会 5月 17 日 (火)

運営委員会、後援団体、非常設後援団体(50周年企画実行委員会)の令和3年度活動報告・決算報告ならびに、令和4年度運営委員会と会計監査の解任を行った。また、令和4年度運営委員会と会計監査、活動申請案・予算案の申請を行い、学会員の承認を得た。

### 春季定例会 5月 17 日 (火)

教育学会則第3条、4条に基づき、「オタクって何だろう? ~オタクから学ぶコミュニティの作り方~」というテーマで開催した。学生自身がこれまで経験したコミュニティを振り返ったり、集団とのよき関わり方を考える場となった。

ゼミ説明会 10月12日(水)～21日(金) (10月15日(土)を除く) zoom

大きな岐路であるゼミ選択をよりよいものにしようと、ゼミに所属する学生の協力を得て、1, 2年生を対象に行った。

秋季定例会 12月1日(木)

教育学会則第3条、4条に基づき、周藤由美子氏を迎えて、「今こそ学ぶ性教育～自分や大切な人をデートDVから守るために～」というテーマで講演会を開いた。

機関誌・機関紙の発行

教育学会則第3条、4条に基づき、機関誌「学会誌」は年に1回、機関紙「緑育」は年8回（増刊号も含む）発行した。

備考

上記の企画実現・諸問題解決のため、毎週月曜日に対面形式とzoomにて会議を行った。

成果

企画では、教育学会則の精神に基づいた学会企画を実現できたと同時に、それらに参加した学会員の好評を頂くことができた。企画を通して、学会員相互の交友と人間関係の輪を広げ、幅広い知識を得ることに貢献できた。

総括

今年度の活動は3年ぶりに対面形式の活動が許可され、近年におけるコロナ禍の活動よりも、活気のある学会活動が徐々に戻ってきた。誰も対面形式での行事を体験したことがない中ではあったが、それぞれの役職を全うし、活動を行うことができた。しかし、日程調整や学生への周知などが遅れてしまった。そのような課題点は、引き継ぎの段階で日程のスケジュールを引き継いでいくなどして、改善していきたい。

総会に関しては、教育学会則第15条にて正会員（本学教育学科生）の出席が明記され

ているように、総会の意義を学会員に明確に伝え、総会のあり方を考えていく。定例会に閑しても、原則参加したことでの時間の講義を出席したことになる。そういうことを理解し、教員、学生に関係なく学会員としての自覚を持っていただき、今後とも運営委員会の活動にご理解とご協力をお願いしたい。

報告者 \_\_\_\_\_ 印

**2022年度 教育学会決算報告資料(案)**

**収入の部**

		単位:円
前年度繰越金		4,753,578
前年度利息		39
2022年度学会費(7,000×113名、7,000×1名、7,000×3名)		819,000
2022年度教育学会利息		35
2022年度運営委員会利息		3
2022年度後援団体利息		0
合計		5,572,655

**支出の部**

項目	内訳	詳細	2022年度予算	2022年度決算	増減	執行率	単位:円
<b>運営委員会活動費</b>			906,048	321,260	584,788	35%	
教育学会総会			11,000	7,500	3,500	63%	
花束代	花束代(7500円)		5,000	7,500	-2,500	125%	
郵送代			5,000	0	5,000	0%	
春季定期会			15,000	6,195	8,805	41%	
秋季定期会	企画費	筆記用具(3715円) 印刷費(1160円) 除菌シート(1320円)	15,000	6,195	8,805	41%	
			27,000	17,199	9,801	64%	
	企画費	看板製作(8648円) 雑費(2066円)	20,000	10,712	9,288	54%	
	花束代	花束代(3300円) 花束袋代(110円)	3,000	3,410	-410	114%	
	弁当代	弁当代(820円)	1,000	820	180	82%	
	お茶菓子代	お茶菓子代(2257円)	3,000	2,257	743	75%	
セミ説明会交通費			64,000	0	64,000	0%	
公開セミ補助費	中村セミ(20,000円)		150,000	20,000	130,000	13%	
教育学会誌			440,000	231,094	208,906	53%	
製作費	学会誌製作費(209,440円)		300,000	209,440	90,560	70%	
編集費	学会誌製作費送金手数料(440円)		440				
	文字起し代(20,944円)		100,000	20,944	79,056	21%	
	文字起し代送金手数料(270円)		270				
	郵送代		40,000	0	40,000	0%	
印刷費	500枚入コピー用紙(422円×57束)		30,738	24,054	6,684	78%	
	計 28,500枚						
会議交通費			104,310	2,618	101,692	3%	
2022年度春休み会議 1,2年10回	2年生 最寄駅～東武練馬または高坂 片道金額×(各委員の会議参加回数)		51,910	2,304	49,606	4%	
	1年生 最寄駅～東武練馬または高坂 片道金額×(各委員の会議参加回数)		52,400	314	52,086	1%	
記録用DVD			1,000	0	1,000	0%	
模温機			50,000	0	50,000	0%	
アルコール消毒液			3,000	0	3,000	0%	
雑費	USB(6000円) DVD及びSDカード(6600円)		10,000	12,600	-2,600	126%	
<b>後援団体補助金</b>			1,295,950	508,522	787,428	39%	
後援団体大合宿	別紙参照		573,100	370,531	202,569	65%	
後援団体球技	別紙参照		439,750	72,063	367,687	16%	
後援団体コンサート	別紙参照		133,100	65,928	67,172	50%	
後援団体予備費			150,000	0	150,000	0%	
<b>大学院生活助賞</b>			161,000	0	161,000	0%	
未還元学会費			140,000	0	140,000	0%	
研究支援賞	大学院生への返還 (図書カード 7,000円×3名)		21,000	0	21,000	0%	
<b>教育学会創立50周年記念</b>	別紙参照		1,688,680	187,895	1,500,785	11%	
<b>学会費返金</b>			30,000	17,620	12,380	59%	
<b>支出合計</b>			4,081,678	1,035,297	3,046,381	25%	
<b>繰越金</b>	収入合計(5,572,655)-支出合計(1,035,297)				4,537,358		

**財産目録**

2023年3月31日現在

(単位:円)

1 銀行預金 普通預金(有利息型)	みずほ銀行		4,537,358
2 銀行預金 普通預金(有利息型)	ゆうちょ銀行		0
3 現金		内2,000円は学会費として返金予定のため、預かり金とする	
合計			4,537,358

2022年度教育学会会計

年 月 日

教育学会会計

印

教育学会会計

印

監査報告書

年 月 日

私ども会計監査は、教育学会の2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)における会計報告を監査した結果、適正に行われていることを確認いたしました。

会計幹事

印

会計幹事

印

# 2022年度 教育学会実行委員会活動報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 柿迫絢乃 印

団体名	教育学会創立50周年企画実行委員会			
団体責任者	学籍番号	20114111	役職名	代表
	氏名	柿迫 絢乃 印		
副責任者	学籍番号	20114001	役職名	副代表
	氏名	柏 陽斗 印		
団体構成	4年5名 3年3名 2年2名 1年0名			合計 10名

## 活動内容

会議期間	2022年4月7日～2022年10月2日
実施場所	リモート会議(zoomを使用)
会議内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・50周年企画の内容及び実施日を決める。</li><li>・プレーパークの見学に行く。</li><li>・イベントの宣伝方法、幼稚園・小学校や借用する施設への連絡など、必要な仕事について話し合い、委員それぞれに分担する。</li><li>・プレーリヤカ一活動で行う遊びを具体的に決める。</li><li>・50周年公式キャラクターのデザインを募集する方法と決定方法を決める。</li><li>・記念品として配布する水筒のデザインを決める。</li></ul>

企画名	教育学会創立 50 周年企画(プレーリヤカ一)
場所	赤塚公園 競技場
実施日	2022 年 10 月 23 日 (日)
参加人数	1 年生 : 1 人、2 年生 : 0 人、3 年生 : 5 人、4 年生 : 0 人 合計 : 6 人
予定表	<p>当日の活動の流れ</p> <p>12:00 集合 (板橋キャンパス 図書館前)</p> <p>13:00～15:30 プレーリヤカ一活動</p> <p>16:00 解散</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画を通して子ども自身がどのような行動をするかを見ることができた。子どもたちとの関わり方や接し方について学びを深めたことで、教員になった際にこの経験を活かした指導を行うことができる。</li> <li>参加した学生や委員の当日の呼びかけもあり、地域の方々が予想以上に参加してくれた。</li> <li>遊び道具が人数分足りなくとも、学生や委員の臨機応変な対応により、鬼ごっこなどの遊びを行うことで、子どもたちを退屈させてしまう時間を最小限にすることことができた。</li> <li>シミュレーションを行うことができなかつたが、全員がそれぞれの仕事を全うすることで、子どもたちを楽しませることができた。</li> <li>保護者から子どもが楽しんでいてよかったです、またやってほしいという声をいただいた。</li> <li>当日は子どもたち、学生ともに、怪我なくイベントを行うことができた。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>当初は 1 週間前の 10 月 16 日で企画を実施する予定だったが、委員の不手際で延期となってしまった。延期の連絡が直前になってしまったのもあり、参加人数が大幅に減ってしまったため、委員から意見が出た都度しっかり確認を取るべきである。また、もっと早くから動き始めるようにする。</li> <li>LINE の公式アカウントや LINE グループを使って情報を発信していたが、公式アカウントを登録してくれる学生が少なかつたり、イベントの概要が伝わりにくかつたりなどの課題が見受けられた。インスタグラムを使って、施設に見学に行った際の写真や動画などを発信し、楽しさが伝わるような宣伝をもっと積極的に行うべきだった。</li> <li>具体的な遊び活動を決めるのが難しく、委員内でも内容の共有が遅くなることがあった。少しでも決まったことがある時点で連絡を密にとり、やるべきことの偏りが</li> </ul>

生じないように、仕事を平等に振り分けられると良い。そうすることで、自分も委員会のメンバーの一員であるということを自覚することができる。

貴団体の申請を受理致しました。

2023年 月 日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_ 印

# 2022年度 教育学会補助金決算報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 川合春乃 印

報告先	教育学会運営委員会
団体名	教育学会創立50周年企画実行
会計責任者	学籍番号 20114038 氏名 川合 春乃 印

項目	詳細	予算	決算	増減
記念品	記念品水筒 505個	600,000	0	600,000
宣伝	宣伝チラシ 印刷	200	120	80
文房具代		30,000	1,774	28,226
	テープ類		538	
	のり・ボンド		468	
	紐		108	
	レジャーシート		660	
材料費		30,000	9,687	20,313
	クレヨン・カラーペン		6,556	
	画用紙		1,155	
	フェルト		550	
	その他		1,426	
対策	新型コロナウイルス対策	5,000	986	4,014
	アルコール消毒		986	
医療費		4,000	838	3,162
	絆創膏等		838	
寄付金	世田谷プレイパーク	4,000	4,000	0
リヤカーレンタル代	13,790円×7台	102,140	16,450	85,690
テントレンタル代		90,000	0	90,000
当日施設借用日	赤塚公園運動競技場	33,200	21,600	11,600
Tシャツ代	50周年オリジナルTシャツ	375,000	129,360	245,640
お菓子代		13,000	2,300	10,700
交通費		52,140	780	51,360
記念誌	創立50周年記念誌	250,000	0	250,000

郵送費		30,000	0	30,000
お茶・お菓子代		20,000	0	20,000
雑費		50,000	0	50,000

後援助成金決算総額		1,668,680	187,895	1,500,785
-----------	--	-----------	---------	-----------

返金	1,668,680 - 187,895 (収支合計 - 支出合計)	1,500,785
----	-----------------------------------	-----------

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2022年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 山崎晴翔 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿		
責任者	学籍番号 20114004 氏名 山崎 晴翔		印
団体構成	4年0名 3年11名 2年12名 1年8名		

## 活動内容「大合宿」

実施日	2023年2月22～24日	実施場所	神奈川県立足柄ふれあいの村
会議期間	2022年3月7日～2023年3月6日 (39回実施)		
参加人数	4年21名 3年19名 2年15名 1年11名		
合計 66名			
活動内容報告	<p>活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・週一回の企画会議、毎週の企画会議からなる。</li><li>・企画会議で企画の発案、全体会議で出た案についての討議を行った。</li><li>・3月～4月にかけて施設探しを行い、以降は、企画の準備を進める。</li><li>・今年度は新型コロナウイルス第7波の影響により夏季開催予定を延期として冬季開催に変更を行った。</li><li>・定期的に東松山市内の体育館を借用して対面式でレクリエーションのシミュレーションを行った。</li><li>・本番同様の活動場所や時間配分で行うシミュレーション(小合宿)を1度実施した。</li><li>・当日程終了後に全体会議にて反省を行う。</li></ul>		
	<p>当日の流れ</p> <p>【1日目】</p> <p>06:20 高坂駅バス停にて受付開始 07:10 高坂駅出発 07:10～10:30 バス移動(休憩 狹山PA、厚木PA各15分) 10:30 足柄ふれあいの村到着</p>		

	<p>10:30～11:00 荷物移動</p> <p>11:00～11:30 入村式</p> <p>11:15～11:30 移動</p> <p>11:30～11:40 「1日目」レクリエーション準備、移動</p> <p>11:40～13:00 出会い</p> <p>13:00～13:15 移動</p> <p>13:15～15:45 1日目野外炊飯</p> <p>15:45～16:00 移動</p> <p>16:00～17:05 「1日目」レクリエーション</p> <p>17:05～17:15 片付け、準備、休憩</p> <p>17:15～17:45 3年レクリエーション</p> <p>17:45～17:55 休憩</p> <p>17:55～18:30 4年レクリエーション</p> <p>18:30～18:50 休憩、移動、入浴準備</p> <p>18:50～19:35 夕食</p> <p>19:35～22:05 入浴</p> <p>22:05～23:00 自由時間</p> <p>23:00～ 就寝</p> <p><b>【2日目】</b></p> <p>7:40 起床</p> <p>7:40～8:25 準備</p> <p>8:25～8:40 移動</p> <p>8:40～9:25 朝食</p> <p>9:25～9:40 準備、休憩</p> <p>9:40～11:10 「2日目」レクリエーション①</p> <p>11:10～11:25 移動</p> <p>11:25～13:25 2日目野外炊飯</p> <p>13:25～13:40 移動</p> <p>13:40～14:25 「2日目」レクリエーション②</p> <p>14:25～14:35 休憩</p> <p>14:35～15:50 ダンス練習</p> <p>15:50～16:10 休憩</p> <p>16:10～16:45 4年生の話</p> <p>16:45～17:00 移動</p> <p>17:00～17:30 夕食</p>
--	---

	<p>17:30～17:50 休憩、移動、入浴準備</p> <p>17:50～20:10 「2夜」レクリエーション</p> <p>20:10～20:25 移動</p> <p>20:25～22:30 入浴</p> <p>22:30～23:00 自由時間</p> <p>23:00 就寝</p> <p><b>【3日目】</b></p> <p>7:00 起床</p> <p>7:00～8:20 片付け、掃除</p> <p>8:20～8:40 荷物移動</p> <p>8:40～9:10 朝食</p> <p>9:10～9:25 移動</p> <p>9:25～11:20 「3日目」レク</p> <p>11:20～11:30 休憩</p> <p>11:30～12:15 昼食</p> <p>12:15～12:30 移動</p> <p>12:30～15:20 表彰、うちわ、通し、写真撮影</p> <p>15:20～16:00 片付け荷運び</p> <p>16:00～16:10 点呼</p> <p>16:10～19:40 バス移動(休憩 厚木PA、狭山PA 各15分)</p> <p>19:40 高坂駅着 解散</p> <p>レクリエーション内容</p> <p>○1日目</p> <p>バスレクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【ミュージッククエスト】</li> </ul> <p>曲の1部分を流し、流した範囲にまつわるクイズを出題する。答えを予想して挙手制によって解答者を決め答え合わせを行いレクリエーションを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【レッツ！ダービー！】</li> </ul> <p>出題内容に当てはまる人数を予想し、解答するゲームになっている。予想した人数を発表して問題に当てはまる人数を集計し、結果発表を行い、予想した人数に一番近い人の勝利になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【私は何でしょう？？？】</li> </ul>
--	--

	<p>委員が提示したお題のヒントを4つ考え、解答者に1つずつ伝え、回答者は、答えがわかった時点で举手をして回答を行う。解答権は一回までとする。</p>
	<p>レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【出会い1(オリンピック開会式)】</li> </ul> <p>オリンピックの招待状を参加者に渡し招待状に書かれている種目名ごとに班分けを行う。班ごとに分かれた後に班員に対して自己紹介を行い、名札の製作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【センスが大事？頭脳派有利？そんなの関係ない！みんなで楽しモルック～！】</li> </ul> <p>8班対抗で行い、1～15までの数が書かれたピンが15本置かれており水の入ったペットボトルを下投げで投げピンを倒して1ピンだけ倒れた場合は、その倒したピンに書かれている数字が得点になり2ピン以上倒した場合は、倒したピンの数が得点になる。ピンを倒すことができた場合はくじを引くことができ、くじの内容に沿って得点が変化することもある。ゲーム終了時に得点が50点に近いチームから順位を決め勝敗を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【出会い2】</li> </ul> <p>班ごとに並びモルックでの結果発表で順位ごとに表彰を行い、参加賞としてメダルを授与する。班員のメダルの中に各国の名物の食べ物のバッジが入っており、その同じ名物の食べ物のバッジごとに新しく班を作り直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【魔法使いにはなれるのか！？生き残りクディッチ！！！】</li> </ul> <p>長方形のコートの四隅にゴールが設置されており、クディッチ1→しっぽ取り→クディッチ2の三形態でのゲームを行う。クディッチ1、2いずれも篠を跨いだままの状態でボールを持ちゴールに向かって投げ得点を獲得する。しっぽ取りでは、ボールの使用はせず上半身のどこかにつけた得点付きのしっぽを篠を跨いだまま取り合い自分のしっぽが無くなった時点でコート外にて待機し、最後に取ったしっぽの点数の集計を行い得点とする。</p> <p>○2日目昼</p> <p>レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【目指せ、完成度100%！走って抱えてコスプレリレー】</li> </ul> <p>8班対抗で行うリレー形式のコスプレ伝達リレーを行う。第一走者は、お題を確認して次の走者にお題をジェスチャーで伝え、第二走者以降はリレーを行いながらコスプレゾーンにあるお題に沿ったものを身に着け次の走者にジェスチャーを用いて伝えていき最終走者がお題に沿ったものをいくつ身に着けているのかで得点を配布する。リレーの順位</p>

	<p>8班対抗で多くのミニゲームを行い、その勝敗によって陣地を獲得していくレクリエーション。最後には陣地横取りゲームがあり、最終的な獲得陣地数が多い班の勝利となる。</p> <p>・【紙フリスビーで神 aim !】</p> <p>紙フリスビーを用いた8班対抗のレクリエーション。各班内からカゴ持ち役2人を選出し、それ以外の者はフリスビー投手として参加する。用意された+ポイント・-ポイントフリスビーを指定のコート内で投げ、カゴ持ち役の操るカゴに入れる。中には、ポイントのわからない「?フリスビー」があり、最終的な獲得ポイントで勝敗を決める。</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションを通し、班員同士を中心とした新たな交友関係を築くことができた。</li> <li>・レクリエーションを通し、班員同士で協力し合って活動することで主体性や協調性を育むことができた。</li> <li>・レクリエーションを行うことでMCやタイムキーパー、集計等のレクリエーションの中での役回りを確認することができた。</li> <li>・3年度ぶりに対面形式で大合宿を行うことで以前まで行っていた大合宿の活動がどのようなものなのかを身をもって知ることができた。</li> <li>・新型コロナウイルス流行以前の大合宿開催の流れを掴むことができたため委員の今後の土気向上にも繋がった。</li> <li>・大合宿後に行った参加者アンケートにおいて、3年度ぶりの開催を喜ぶ声や今年度の大合宿を経て充実感を得たという声、来年度の大合宿への参加を熱望する声などを多く頂いた。大合宿のコンセプトの一つである「教育学科の仲を深めること。」にふさわしい活動を実施することができたと感じた。</li> </ul>
反省点・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の使用状況を踏まえ、必要な用具のリストアップや予備を多く持っていくなど用具準備の見直しが必要だと感じた。</li> <li>・限られた予算の中で必要なもの不必要なものの判断をより綿密に行う必要があると感じた。</li> <li>・バス到着時刻が高速道路の渋滞により遅れてしまうなどの不測の事態が起きた際に柔軟な対応が行えず参加者に無理な行動をお願いしてしまうことがあった。</li> <li>・参加者の人数が非対面式のZOOM開催の時よりも圧倒的に増えていたが、よりたくさんの人々に大合宿を楽しんでもらうために、来年度は今年度の写真や動画をSNSを活用して参加を呼びかけより多くの参加者の参加を促していくたいと思う。</li> <li>・今回利用した神奈川県立足柄ふれあいの村の電波が微弱であったため委員同士の情報伝達の面で非常に苦難を強いられた。連絡を得た人から順に口伝していくなどの臨機応変な対応を行うべきであった。来年度以降の活動では、トランシーバーの借用などを検討する。</li> </ul>

### 活動報告「小合宿」

実施日	2023年1月29~30日	実施場所	神奈川県立足柄ふれあいの村
-----	---------------	------	---------------

	<p>とコスプレの完成度での得点を合算して順位を確定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【東西南北勝つのはどこだ？！四方向綱引きゲーム！！】</li> </ul> <p>8班を4チームに分けて綱引きを行う。4方向に伸びる綱を用いてそれぞれのチームが引っ張り合い決めた印よりも自陣の方に綱を引き込めば勝利になる。最初にくじを引きくじで出たミッションやアイテムを使って綱引きを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【ただただ高く積み上げろ！脳筋 超人 スーパーゲーム！！】</li> </ul> <p>8班対抗で行い、最初に班ごとにガムテープと段ボール1枚を支給する。その後は、ミニゲームを行っていきミニゲーム内で勝利すると追加の段ボールが支給される。全てのミニゲームが終わり集まった段ボールを使用して3分間の組み立て時間で一番高い段ボールタワーを作り上げたチームが優勝になる。</p> <p>○2日目夜 レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【お見合い♥愛テムマッチング】</li> </ul> <p>男女それぞれにくじ引きをしてもらい、引いたくじに描いてある絵の色ごとでチーム分けを行う。チーム内でくじを見せ合い、同じ絵のくじを持っている人同士がペアとマッチングし、その後のレクリエーションに臨む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【心のバトンを繋げ！ラブキュン♥アオハルリレー】</li> </ul> <p>4チーム対抗のリレー。ペアと共に「二人三脚・風船運び・大きな布でボール運び・おんぶ or お姫様抱っこ」の4競技を行いバトンを繋いでいく。順位ポイントとその他特別ポイントの合算から、一番ポイントを獲得したチームの勝利となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【萌えて燃えろキャンドルファイヤー】</li> </ul> <p>【キュンキュン台詞】 「心のバトンを繋げ！ラブキュン♥アオハルリレー」で選ばれたペアがキャンドルファイヤーの前でキュンキュンするセリフを演じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【2夜でDoki♥Dokiダンスタイム】</li> </ul> <p>キャンドルファイヤーを囲み、「マイムマイム・オクラホマミキサー・大合宿委員考案ダンス」をペアと共に踊る。 今年度は「キミに100パーセント / きゃりーぱみゅぱみゅ」をテーマ曲とし、大合宿委員考案ダンスを制作した。</p> <p>○3日目 レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【いや、アタック25ちやうんかい！領地拡大陣取りゲーム！】</li> </ul>
--	---

参加人数	4年0名 3年11名 2年12名 1年8名	合計31名																																																																	
<p>活動の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週一回の企画会議、毎週月曜日の全体会議からなる。</li> <li>・企画会議で企画の発案、全体会議でそれについての討論を行った。</li> <li>・3月～4月にかけて施設選定を行い、以降は企画の準備を進めた。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス第7波の影響により夏季開催予定を延期として冬季開催に変更を行った。</li> <li>・定期的に東松山市内の体育館を借用して対面式でレクリエーションのシミュレーションを行った。</li> <li>・本活動では本番同様の活動場所や時間配分で行うシミュレーションを行った。</li> <li>・当日程終了後に全体会議にて反省を行った。</li> </ul> <p>当日の活動の流れ</p> <p>【1日目】</p> <table> <tbody> <tr> <td>活動内容報告</td> <td>06:20</td> <td>全体集合(高坂駅前)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>06:45</td> <td>高坂駅出発</td> </tr> <tr> <td></td> <td>07:50～08:30</td> <td>バスレクリエーション</td> </tr> <tr> <td></td> <td>09:45</td> <td>足柄ふれあいの村到着（休憩 狹山PA、厚木PA各20分）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:10</td> <td>入村式</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10:30</td> <td>村内散策（本番に備えた村内把握）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11:30～12:05</td> <td>「1日目」レクリエーション①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12:05～12:20</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12:30～14:30</td> <td>1日目野外炊飯</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14:40～15:00</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15:05～16:00</td> <td>「1日目」レクリエーション②</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:00～16:10</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>16:10～17:10</td> <td>「1日目」レクリエーション③</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:10～17:20</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17:25～18:30</td> <td>「3日目」レクリエーション①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:30～18:40</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18:40～19:15</td> <td>「3日目」レクリエーション②</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19:15～19:45</td> <td>休憩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19:45～20:15</td> <td>夕食</td> </tr> <tr> <td></td> <td>20:30～22:05</td> <td>入浴</td> </tr> <tr> <td></td> <td>22:40～00:00</td> <td>全体会議</td> </tr> <tr> <td></td> <td>00:00～</td> <td>就寝</td> </tr> </tbody> </table>		活動内容報告	06:20	全体集合(高坂駅前)		06:45	高坂駅出発		07:50～08:30	バスレクリエーション		09:45	足柄ふれあいの村到着（休憩 狹山PA、厚木PA各20分）		10:10	入村式		10:30	村内散策（本番に備えた村内把握）		11:30～12:05	「1日目」レクリエーション①		12:05～12:20	休憩		12:30～14:30	1日目野外炊飯		14:40～15:00	休憩		15:05～16:00	「1日目」レクリエーション②		16:00～16:10	休憩		16:10～17:10	「1日目」レクリエーション③		17:10～17:20	休憩		17:25～18:30	「3日目」レクリエーション①		18:30～18:40	休憩		18:40～19:15	「3日目」レクリエーション②		19:15～19:45	休憩		19:45～20:15	夕食		20:30～22:05	入浴		22:40～00:00	全体会議		00:00～	就寝
活動内容報告	06:20	全体集合(高坂駅前)																																																																	
	06:45	高坂駅出発																																																																	
	07:50～08:30	バスレクリエーション																																																																	
	09:45	足柄ふれあいの村到着（休憩 狹山PA、厚木PA各20分）																																																																	
	10:10	入村式																																																																	
	10:30	村内散策（本番に備えた村内把握）																																																																	
	11:30～12:05	「1日目」レクリエーション①																																																																	
	12:05～12:20	休憩																																																																	
	12:30～14:30	1日目野外炊飯																																																																	
	14:40～15:00	休憩																																																																	
	15:05～16:00	「1日目」レクリエーション②																																																																	
	16:00～16:10	休憩																																																																	
	16:10～17:10	「1日目」レクリエーション③																																																																	
	17:10～17:20	休憩																																																																	
	17:25～18:30	「3日目」レクリエーション①																																																																	
	18:30～18:40	休憩																																																																	
	18:40～19:15	「3日目」レクリエーション②																																																																	
	19:15～19:45	休憩																																																																	
	19:45～20:15	夕食																																																																	
	20:30～22:05	入浴																																																																	
	22:40～00:00	全体会議																																																																	
	00:00～	就寝																																																																	

	<p><b>【2日目】</b></p> <p>07:00 起床      07:45～08:30 朝食      09:30～10:20 「2昼」レクリエーション①      10:20～10:35 休憩      10:35～11:40 「2夜」レクリエーション②      11:40～12:30 各部署打ち合わせ      12:40～14:20 2日目野外炊飯      14:20～14:45 休憩      15:05～16:15 「2夜」レクリエーション①      16:15～16:20 休憩      16:20～16:50 「2夜」レクリエーション②      16:50～17:30 片付け・荷物積み込み      17:40 退村      17:40～20:30 バス移動(休憩 厚木PA、狭山PA 各15分)      20:30 高坂駅着 解散</p> <p>レクリエーションの内容</p> <p>○1日目</p> <p>バスレクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【ミュージッククエスト】</li> </ul> <p>曲の1部分を流し、流した範囲にまつわるクイズを出題する。答えを予想して挙手制によって解答者を決め答え合わせを行いレクリエーションを進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【レッツ！ダービー！】</li> </ul> <p>出題内容に当てはまる人数を予想し、解答するゲームになっている。予想した人数を発表して問題に当てはまる人数を集計し、結果発表を行い、予想した人数に一番近い人の勝利になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【私は何でしょう？？？】</li> </ul> <p>委員が提示したお題のヒントを4つ考え、解答者に1つずつ伝え、解答者は、答えがわかった時点で挙手をして回答を行う。解答権は一回までとする。</p> <p>レクリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【出会い1（オリンピック開会式）】</li> </ul>
--	--

	<p>オリンピックの招待状を参加者に渡し招待状に書かれている種目名ごとに班分けを行う。班ごとに分かれた後に班員に対して自己紹介を行い、名札の製作を行う。</p> <p>・【センスが大事？頭脳派有利？そんなの関係ない！みんなで楽しモルック～！】</p> <p>8班対抗で行い、1～15までの数が書かれたピンが15本置かれており水の入ったペットボトルを下投げで投げピンを倒して1ピンだけ倒れた場合は、その倒したピンに書かれている数字が得点になり2ピン以上倒した場合は、倒したピンの数が得点になる。ピンを倒すことができた場合はくじを引くことができ、くじの内容に沿って得点が変化することもある。ゲーム終了時に得点が50点に近いチームから順位を決め勝敗を決める。</p> <p>・【出会い2】</p> <p>班ごとに並びモルックでの結果発表で順位ごとに表彰を行い、参加賞としてメダルを授与する。班員のメダルの中に各国の名物の食べ物のバッジが入っており、同じ名物の食べ物のバッジごとに新しく班を作り直す。</p> <p>・【魔法使いにはなれるのか！？生き残りクディッチ！！】</p> <p>長方形のコートの四隅にゴールが設置されており、クディッチ1→しっぽ取り→クディッチ2の三形態でのゲームを行う。クディッチ1、2いずれも篠を跨いだままの状態でボールを持ちゴールに向かって投げ得点を獲得する。しっぽ取りでは、ボールの使用はせず上半身のどこかにつけた得点付きのしっぽを篠を跨いだまま取り合い自分のしっぽが無くなった時点でコート外にて待機し、最後に取ったしっぽの点数の集計を行い得点とする。</p> <p>○2日目昼 レクリエーション</p> <p>・【目指せ、完成度100%！走って抱えてコスプレリレー】</p> <p>8班対抗で行うリレー形式のコスプレ伝達リレーを行う。第一走者は、お題を確認して次の走者にお題をジェスチャーで伝え、第二走者以降はリレーを行いながらコスプレグーンにあるお題に沿ったものを身に着け次の走者にジェスチャーを用いて伝えていく最終走者がお題に沿ったものをいくつ身に着けているのかで得点を配布する。リレーの順位とコスプレの完成度での得点を合算して順位を確定する。</p> <p>・【東西南北勝つのはどこだ？！四方向綱引きゲーム！！】</p> <p>8班を4チームに分けて綱引きを行う。4方向に伸びる綱を用いてそれぞれのチームが引っ張り合い決めた印よりも自陣の方に綱を引き込めば勝利になる。最初にくじを</p>
--	--

	<p>引きくじで出たミッションやアイテムを使って綱引きを行う。</p> <p>・【ただただ高く積み上げろ！脳筋 超人 スーパーゲーム！！】</p> <p>8班対抗を行い、最初に班ごとにガムテープと段ボール1枚を支給する。その後は、ミニゲームを行っていきミニゲーム内で勝利すると追加の段ボールが支給される。全てのミニゲームが終わり集まった段ボールを使用して3分間の組み立て時間で一番高い段ボールタワーを作り上げたチームが優勝になる。</p> <p>○2日目夜 レクリエーション</p> <p>・【お見合い♥愛テムマッチング】</p> <p>男女それぞれにくじ引きをしてもらい、引いたくじに描いてある絵の色ごとでチーム分けを行う。チーム内でくじを見せ合い、同じ絵のくじを持っている人同士がペアとマッチングし、その後のレクリエーションに臨む。</p> <p>・【心のバトンを繋げ！ラブキュン♥アオハルリレー】</p> <p>4チーム対抗のリレー。ペアと共に「二人三脚・風船運び・大きな布でボール運び・おんぶ or お姫様抱っこ」の4競技を行いバトンを繋いでいく。順位ポイントとその他特別ポイントの合算から、一番ポイントを獲得したチームの勝利となる。</p> <p>・【萌えて燃えろキャンドルファイヤー】 【キュンキュン台詞】</p> <p>「心のバトンを繋げ！ラブキュン♥アオハルリレー」で選ばれたペアがキャンドルファイヤーの前でキュンキュンするセリフを演じる。</p> <p>・【2夜で Doki♥Doki ダンスタイム】</p> <p>キャンドルファイヤーを囲み、「マイムマイム・オクラホマミキサー・大合宿委員考案ダンス」をペアと共に踊る。</p> <p>今年度は「キミに100パーセント / きゃりーぱみゅぱみゅ」をテーマ曲とし、大合宿委員考案ダンスを制作した。</p> <p>○3日目 レクリエーション</p> <p>・【いや、アタック25 ちゃうんかい！領地拡大陣取りゲーム！】</p> <p>8班対抗で多くのミニゲームを行い、その勝敗によって陣地を獲得していくレクリエーション。最後には陣地横取りゲームがあり、最終的な獲得陣地数が多い班の勝利と</p>
--	---

	<p>なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【紙フリスビーで神 aim !】</li> </ul> <p>紙フリスビーを用いた8班対抗のレクリエーション。各班内からカゴ持ち役2人を選出し、それ以外の者はフリスビー投手として参加する。用意された+ポイント・-ポイントフリスビーを指定のコート内で投げ、カゴ持ち役の操るカゴに入れる。中には、ポイントのわからない「?フリスビー」があり、最終的な獲得ポイントで勝敗を決める。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿に向けて、入念な安全確認や誘導の確認を行うことができた。</li> <li>・必要な持ち物や備品、所要時間など多方面で大合宿に向けての最終確認を行うことができた。</li> <li>・野外炊飯や誘導など、普段のシミュレーションでは具体的な確認が行えない部分に関しても入念な確認ができた。</li> <li>・宿泊での大合宿を経験していない1～3年生に具体的な経験やイメージを持たせることができた。</li> <li>・本番と同じ体育館でレクリエーションを行うことで、より実践に近い形でのMCや裏方の動きを確認することができた。</li> <li>・新型コロナウイルス第7波の影響で大合宿が延期となり委員全体の士気が低迷していたが、小合宿を経て委員1人1人の士気向上に繋がった。</li> </ul>
反省点 ・ 改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段シミュレーションを行うことのできないバスレクや野外炊飯、入浴といった部分の時間管理に難しさを感じた。想定とのズレが生じた際の対応にまだ詰めの甘さがあると痛感したため、来年度以降は入念な打ち合わせや余裕を持ったスケジュール組みを徹底していく。</li> <li>・今回利用した神奈川県立足柄ふれあいの村の電波が微弱であったため委員同士の情報伝達の面で非常に苦難を強いられた。連絡を得た人から順に口伝していくなどの臨機応変な対応を行うべきであった。来年度以降の活動では、トランシーバーの借用などを検討する。</li> </ul>

貴団体の申請を受理致しました。

2023年　月　日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_印

# 2022年度 教育学会補助金決算報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 石塚生路 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿
会計責任者	学籍番号 20114131 氏名 石塚 生路
2022年度補助金	¥573,100

A案補助金使用用途及び使用額 単位(円)

項目		2022年度予算	2022年度実績	増減	執行率
企画費		75,000	72,803	2,197	97%
1日目分	文房具・大道具及び小道具	15,000	14,489	511	97%
	文房具・大道具及び小道具	15,000	14,693	307	98%
	文房具・大道具及び小道具	15,000	14,503	497	97%
	文房具・大道具及び小道具	15,000	14,314	686	95%
	通し企画	15,000	14,804	196	99%
名札代		6,000	9902	-3,902	165%
交通費	施設下見	70,000	29863	40,137	43%
	大合宿先発隊	25,000	8445	16,555	34%
施設借用費(シミュレーション)		27,900	19420	8,480	70%
医療費		1,900	2596	-696	137%
文房具代		15,000	13,566	1,434	90%
コロナウイルス対策費		10,000	1870	8,130	19%
雑費		20,000	19987	13	100%
野外炊飯用具	野外炊飯用具		5387		
	キッチンクロス 110	ゴミ袋 1177	1287		
	ポリエチレン手袋 220	スポンジ 110	330		
	ブルーシート 1580	麦茶 368	1948		
	クレンザー 1038	菜箸 110	1148		
	紙コップ 660	レジ袋 14	674		

4年プレゼント代		3196		
フォトフレーム 1320 賞状 822		2142		
印刷代 1050 レジ袋 4 円		1054		
小合宿キャンセル料		10373		
振込手数料(小合宿バス代+キャンセル料)		550		
金銭出納帳		481		
小合宿費	275,800	192079	83,721	70%
宿泊費	75,000	31900	43,100	43%
シーツ・枕カバークリーニング代	6,500	10440	-3,940	161%
食費	野外炊飯	30,000	36690	-6,690
	薪代	3,600	2300	1,300
交通費	バス代(片道)、有料道路代(片道)	140,000	99120	40,880
小合宿先発隊	20,000	10918	9,082	55%
運転手接待費	700	711	-11	102%
後援助成金決算総額	526,600	370,531	156,069	70%
返金	収支合計 573,100 - 支出合計 370,531 = 202,569			

貴団体の申請を受理致しました。

年　月　日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2022年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 青山勇司 印

団体名	教育学会後援団体 球技		
責任者	学籍番号 20114003 氏名 青山勇司	印	
副責任者	学籍番号 20114040 氏名 持田愛子	印	
団体構成	4年0名 3年8名 2年10名 1年18名		合計 36名

## 活動内容

実施日	秋季大会 2022年9月25日 冬季大会 2022年12月18日	実施場所	緑山キャンパス		
会議期間	2022年1月17日～2023年1月16日	(31回実施)			
参加人数	秋季大会 4年20名 3年20名 2年17名 1年9名 冬季大会 4年24名 3年23名 2年15名 1年30名 ※委員除く	合計 74名 合計 92名			
活動の流れ		<ul style="list-style-type: none"><li>大会日程、開催場所を決める。</li><li>体育館でシミュレーションを行い、それをもとにルールの改善を行う。</li><li>参加者の出欠確認を行う。</li><li>企画の立案、当日の運営を行う。</li><li>球技大会でどのようにして円滑に進めるか会議を行う。</li></ul>			
活動内容報告	種目と企画 〈秋季大会〉 <ul style="list-style-type: none"><li>サッカー</li><li>ドリブルを使ったミニゲーム（マルバツドリブル）</li></ul> 〈冬季大会〉 <ul style="list-style-type: none"><li>バレーボール</li><li>風船をボールに見立てたミニゲーム（爆弾バレーボール）</li></ul>				
	当日の活動の流れ 〈冬季大会〉 <ul style="list-style-type: none"><li>9:30 開会式</li></ul>				

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 : 00 企画(マルバツドリブル)</li> <li>・ 11 : 00 試合開始</li> <li>・ 14 : 30 決勝トーナメント</li> <li>・ 16 : 00 閉会式</li> <li>・ 17 : 00 完全撤収</li> </ul> <p>〈冬季大会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9 : 30 開会式</li> <li>・ 10 : 30 企画 (爆弾バレーボール)</li> <li>・ 11 : 30 試合開始</li> <li>・ 14 : 50 休憩</li> <li>・ 15 : 50 決勝トーナメント</li> <li>・ 15 ; 55 閉会式</li> <li>・ 17 ; 00 完全撤収</li> </ul>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年は対面の球技大会を行ったことのない委員だけでの大会運営だったが、円滑に大会を進めることができた。</li> <li>・ zoom での球技大会では同学年や他学年と話したり、かかわることは少なかったが、対面の球技大会ではスポーツを通じて仲を深めることができた。</li> <li>・ 例年の球技大会ではジャグなどを準備していたが、新型コロナの感染を防ぐために、飲料水を参加者全員に配布した。</li> <li>・ 冬大会では、新型コロナの感染を防ぐため開けられる窓をすべて開けることから、寒さの心配があったため、参加者全員にカイロを配布した。</li> <li>・ 大会当日 LINE のグループ機能を使って招集を行うことにより円滑に大会を進めることができた。</li> <li>・ 試合後の消毒、換気、当日の検温、密にならないように呼びかけを徹底したため感染拡大を防ぐことができた。</li> </ul>

反省点・改善点

- ・緑山キャンパスの体育館では広さが十分ではなかったため東松山キャンパスの体育館を借用できるようにする。
- ・予定時刻を少々過ぎてしまった。参加者を想定したシミュレーションを行っていく。
- ・秋大会当日は気温が高い中でのサッカーだったため、氷の準備や、水分を多く準備しておくなどの対応が必要だった。
- ・自分の試合が終わったら帰ってしまう参加者がいたので最後までいてくれるような企画を考える。

貴団体の申請を受理致しました。

2023年 月 日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_印

# 2022年度 教育学会補助金決算報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 若杉奈菜 印

団体名	教育学会後援団体 球技
会計責任者	20114005 若杉奈菜 印

## 補助金使用用途及び使用額

項目	詳細	2022年度 予算	2022年度 決算	増減
緊急車両代	レンタカー、ガソリン代 26,022円	90,000	26,022	63,978
医療代	傷テープ、マキロン 592円	2,000	592	1,408
シミュレーション代	東松山市民体育館借用代 10,090円	193,500	10,090	183,410
大会当日施設借用代		106,500	0	106,500
文房具代 ゴミ袋代	テープ 1341円 タコ糸 330円 ゴミ袋 110円 画用紙 558円 模造紙 217円 瞬間接着剤 110円	6,750	2,666	4,084
雑費		8,000	0	8000
球技大会企画費	レフェリーベスト 2,197円 ゼッケン 10,560円 景品代 5,849円 参加者へのドリンク代 11,009円 参加者へのカイロ代 1,975円 アクエリアスパウダー、カップ 1,103円	33,000	32,693	307
後援助成金決算総額		439,750	72,063	367,687

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 印

教育学会会計 印

# 2022 年度 教育学会後援団体活動報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023 年 5 月 11 日

申請者 笹岡碩生 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート		
責任者	学籍番号 20114059 笹岡 碩生 (2022 年度 代表) 印	20114130 川崎 慶太 (2022 年度 副代表) 印	
団体構成	4 年 3 名 3 年 7 名 2 年 3 名 1 年 7 名	合計 20 名	

## 活動内容

実施場所	東松山校舎 オンラインミーティング併用
会議内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・新入委員の勧誘</li><li>・交流会の検討</li><li>・部署決め</li><li>・開催場所下見</li><li>・全体周知</li><li>・横看板作成</li><li>・オリジナル T シャツ作成</li><li>・オープニングパフォーマンス打ち合わせ、準備</li><li>・リハーサルスケジュール決め、担当委員割振</li><li>・当日プログラム作成</li><li>・今年度コンサートの反省</li><li>・来年度計画</li></ul>

公演名	第46回 教育学科コンサート 「新時代～コンサートの夜明け～」
参加人数	1年生：95人、2年生：38人、3年生：42人、4年生：33人 教職員：11 合計：219人
実施日	2022年11月19日
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年ぶりの対面コンサートを実現することができた</li> <li>・会議を対面で行うことにより、委員同士の関係性や活動の効率が向上した</li> <li>・オンラインミーティングサービスを利用することによって情報の共有がしやすくなった</li> <li>・同時配信することによって卒業生や来場できない人たちにもコンサートを楽しんでもらうことができた</li> <li>・参加者のアンケートで、とても楽しかったという声を頂いた</li> <li>・オープニングパフォーマンスによって、コンサートをはじめから盛り上げることができた</li> <li>・コロナ以前のコンサートの運営について全く引き継ぎのない中で、自分たちなりのコンサートをつくることができた</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサートに関わる全ての学生、教職員にご迷惑をおかけしないよう、周知する内容に誤りのないように徹底し、早期に周知を行えるように準備する</li> <li>・LINEなどの非公式ツールの使用により、プライベートな時間がコンサート委員としての活動に侵されてしまうことがあったため、定例会議でしっかりと議論をまとめ、連絡には積極的にメールなどを用いるなどをする</li> <li>・アクシデントを想定して準備する</li> <li>・当日に急な変更をすることがないようにリハーサルをしっかりと行う</li> <li>・あらゆる作業について締め切りなどのルールを設け、円滑にコンサート委員の仕事ができるようにする</li> <li>・委員同士の親睦を深める</li> <li>・状態のよいアーカイブを作成する</li> <li>・SNSや広報に掲載及びそのための記録について、参加者に配慮する</li> <li>・総会で示した活動計画から逸脱せずに遂行する</li> </ul>

貴団体の申請を受理致しました。

2023年　月　日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_ 印

# 2022年度 教育学会補助金決算報告書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 照井龍之丞 印

団体名	教育学科後援団体 コンサート		
会計責任者	学籍番号 20114028 氏名 照井 龍之丞		印

## A, C案 補助金使用用途及び使用額

項目	内訳	詳細	2021年度 予算	2021年度 決算	増減
広告	ポスター	印刷	¥22,200	¥2,200	¥20,000
楽譜代			¥2,000	¥0	¥2,000
文房具代		ビニールテープ(¥2,472)、 賞状(¥798)、文具(¥970)	¥25,000	¥4,240	¥20,760
来賓費			¥7,900	¥0	¥7,900
横看板製作費		塗料	¥16,000	¥3,828	¥12,172
新型コロナ ウイルス対策費			¥20,000	¥0	¥20,000
緊急車両代			¥10,000	¥0	¥10,000
雑費	映像編集費	当日オンライン配信(¥55,000)、 振込手数料(¥660)	¥30,000	¥55,660	¥-25,660

後援助成金決算総額		¥133,100	¥65,928	¥67,172
-----------	--	----------	---------	---------

返金	¥133,100 - ¥65,928 (収支合計 - 支出合計)	¥67,172
----	----------------------------------	---------

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 令和4年度 公開ゼミ補助金 活動・決算報告書

## 活動団体

団体名	中村清二ゼミナール			
責任者	学籍番号 19114121 氏名 伊藤明輝	会計責任者	学籍番号 20114057 氏名 大塚旦陽	

## 活動報告

実施日	令和5年2月27日(月)	実施場所	板橋校舎 3-0103	参加人数	14名
活動内容報告	<ol style="list-style-type: none"><li>泉先生から、工作おもちゃ作りの実演</li><li>山田さんから、板橋青空学校(地域の子どもたちが2泊3日のキャンプをする取り組み)の40年の歴史を、参加し、関わった身として、また地域に生きる大人としての話。</li><li>感想、質問</li></ol>				

## 決算報告

後援助成金決算総額	20000円
補助金使用用途	補助金使用額
参加経費	合計 20000円

第【 】号議案  
2023年5月 11日  
報告者 古畠 歳景

## 2023年度 教育学会 運営委員会活動計画（案）

### 《役員紹介》

委員長	3F 古畠 歳景
副委員長	3A 小室 衆吉 2A 弓削 真波
会計	3A 和田 竜 2C 遠矢 春乃
書記	2B 木滝 大夢、磯谷 蓮 2D 杉澤 主税

- ・ 3B 大豆生田 愛生
- ・ 3C 高原 凜
- ・ 3D 林田 幹大
- ・ 3E 當山 陽那太
- ・ 2A 発知 里世音
- ・ 2D 小川 祐哉、 富田 実乃梨、 青木 栄斗
- ・ 2E 種田 貴志
- ・ 2F 山口 直

### 《活動計画案》

企画名	教育学会 総会	実施日	5月11日
		実施場所	60周年記念講堂
内容	教育学会学会則第4章第14条に基づき開催する。議題は、同学会則第16条に基づき、運営委員会、後援団体の2022年度決算・活動報告及び2023年度予算案・活動計画案の申請と承認、運営委員会の承認、学会員から提案されたものを行う。		

企画名	春季定例会	実施日	5月11日
		実施場所	60周年記念講堂
内容	1年生から4年生で、運営委員会が設定する一つのテーマについて話し合い、考える場を設け、新たな考えを取り入れるとともに他学年との交流を図る。		

企画名	学生教員連絡会	実施日 実施場所	第1回 未定 第2回 未定 第1回 未定 第2回 未定
内容	学生教員連絡会は年二回、夏冬に行う。主に運営委員会・教育学会後援団体と教員との報告、意見交換の場として設ける。		

企画名	ゼミ説明会	実施日 実施場所	未定 未定
内容	主に2年生を対象に自分に合ったゼミ選択をする手助けを目的に開催する。各ゼミの4年生の協力を得て、ゼミの研究、活動内容を紹介してもらう。		

企画名	秋季定例会	実施日 実施場所	未定 未定
内容	学生の目線からアンケートを参考に、教育に関するテーマを考える。また、講師の方をお招きし、学会員と共に学ぶ場を設ける。		

企画名	機関誌、機関紙の発行	発行回数	機関誌「教育学会誌」：年1回発行 機関紙「緑育」：年9回発行（増刊号含む）
内容	教育学会学会則第1章第3条、第4条に基づき、機関誌、機関紙を発行する。「教育学会誌」では、教員の論文をはじめ、学生の発表などを掲載し、「緑育」では、学会行事の報告や体験談など様々な情報を伝える。		

## 2023 年度 教育学会予算書（案）

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	予算	備考
<b>〈収入の部〉</b>		
<b>会費収入</b>		
1年生学会費	931,000	7,000 円×133 名
編入生学会費	21,000	7,000 円×3 名
大学院 1 年生学会費	28,000	7,000 円×4 名
<b>繰越金</b>		
前年度繰越金	4,538,000	
<b>雑収入</b>		
利息	100	
収入合計	5,518,100	
<b>〈支出の部〉</b>		
<b>教育学会運営委員会</b>	674,700	
<b>教育学会総会</b>	11,000	
郵送代	5,000	
花束代	6,000	1,500×4
<b>春季定例会</b>	15,000	
企画費	15,000	
<b>秋季定例会</b>	27,500	
企画費	20,000	
花束代	3,500	オンラインの場合は不要 講師への花束代
弁当代	1,000	オンラインの場合は不要 講師への弁当代
お茶菓子代	3,000	オンラインの場合は不要 講師へのお茶菓子代
<b>ゼミ 説明会交通費</b>	64,000	最寄り駅～高坂駅間 1 人往復 2,000 円と仮定 往復 2,000 円×16 ゼミナール×2 人
<b>公開ゼミ補助費</b>	60,000	20,000 円×3 ゼミナール
公開ゼミ予備費	20,000	
<b>教育学会誌</b>	390,000	
製作費	300,000	
編集費	50,000	
郵送代	40,000	
<b>印刷費</b>	30,000	総会資料などデジタル化した場合は一部不要
<b>会議交通費</b>	43,200	会議交通費 東武練馬駅～高坂駅 540(片道金額)×16 回 8,640×5 人
<b>記録用 DVD</b>	1,000	

<b>アルコール消毒液</b>	3,000	板橋校舎教育学科研究スペースに設置するアルコール消毒液
<b>雑費</b>	10,000	
<b>後援団体</b>	1,181,000	
後援団体大合宿	681,300	別紙参照
後援団体球技	161,400	別紙参照
後援団体コンサート	188,300	別紙参照
後援団体予備費	150,000	50,000 円×3 団体
<b>大学院生</b>	168,000	
未還元学会費	140,000	
研究支援費	28,000	7,000 円×4 名
<b>学会費返金</b>	30,000	
返金	30,000	
<b>教育学会創設 50 周年 企画</b>	1,621,000	(前年度予算)
<b>支出合計</b>	3,674,700	
<b>本年度収支差額</b>	1,843,400	

次年度繰越金	1,843,400	
--------	-----------	--

貴団体の申請を受理致しました。

年　月　日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2023年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 濑口宗吾 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿					
団体責任者	学籍番号	21114076	役職名	代表		
	氏名	瀬口 宗悟	印			
副責任者	学籍番号	21114120	役職名	副代表		
	氏名	沖 哲志	印			
	学籍番号	21114066	役職名	副代表		
	氏名	中村 寧子	印			
	学籍番号	21114117	役職名	副代表		
	氏名	小林 健太	印			
団体構成	4年0名 3年12名 2年8名 1年0名	合計 20名				
団体構成メンバー (2023年 5月 11日現在)						
3年生		2年生				
熊田 華凜	21114004	番場 凌矢	22114004			
神尾 萌花	21114109	三上 将	22114026			
吉田 樹里	21114020	小野 あめり	22114070			
三木 万里佳	21114042	吉田 伊歩希	22114096			
大久保 霽	21114043	風間 涼太	22114103			
湯本 韶	21114064	岡田 康生	22114111			
中村 寧子	21114066	柳沢 有哉	22114116			
瀬口 宗悟	21114076	酒井 遼馬	22114119			
小林 健太	21114117					
沖 哲志	21114120					
松尾 泰志	21114133					

## 活動計画案・企画案

### A案

企画名	大合宿
場所	国立那須甲子青少年自然の家

実施日	2023年9月4~6日、もしくは冬季
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1泊2日もしくは2泊3日の共同生活の中で、企画を通じ学年の枠を越えた交流を深める。</li> <li>・学年や既存の交流の枠を越えた班で企画に参加することで、自主性や協調性を育み、仲を深める。</li> <li>・学年の縦と横の繋がりを増やし、交流を深める機会を設ける。</li> <li>・学びに関連したレクリエーションを取り入れることで、将来社会に出た際に役立つ知識を得る。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の立地を活かし、大自然に触れ、地域の文化を知る機会をつくり体験する。</li> <li>・大合宿当日は、それまでの度重なる会議やシミュレーションの内容に基づき、主に野外炊飯やキャンプファイヤー、レクリエーション等を行う。</li> <li>・担当の企画ごとに会議を行い、その内容を元に全体での会議を週に1度行う。</li> <li>・施設との連携をとりつつ、大合宿当日のタイムスケジュールを作成する。</li> <li>・1泊2日の小合宿を通して、大合宿を滞りなく運営できるように綿密に確認を行う。</li> <li>・企画を考案する際、参加者ことを第一に考える。主に企画を通じて交流関係を築くきっかけを得られるか、人間性の成長のきっかけを得られるか、安全面に配慮できているかの3点について重視する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段関わりの少ない者同士が企画に参加して活動することで、学年、クラスの壁を越えた交流関係を築き、また協調性や自主性といった人間的成长の機会を得ることができる。</li> <li>・小学校の校外学習活動のような日常生活では得られない体験を通じ、教員になってからも活かせる知識や経験を得ることができる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員との連絡を十分に行い、コロナ2019の状況に応じて日付の変更や実施の有無を慎重に検討する。</li> <li>・事前に入念な会議やシミュレーション、考察を行い、万全な状態で当日に臨めるよう準備する。</li> <li>・企画としてレクリエーションを行う以上、ただ「楽しかった」だけで終わらずに仲間との協調性やコミュニケーションの大切さなど、多くの「学び」を得られるものにする。</li> <li>・本番前の委員内、また参加者に対する情報共有や告知を迅速かつ正確なものとする。</li> <li>・参加者に対する休憩終了時刻の伝達や、委員内での本番中の人数変更などの情報共有をより強化する。</li> <li>・大合宿終了後、参加者にアンケートを取って委員の中でのフィードバックを行い、次年度への足掛かりとする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ2019感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>・アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>・換気による空気の入れ替え、手洗いうがいを徹底する。</li> <li>・コロナ2019発症者との接触がないか、初期症状は見られないか等のコロナウィルスに関するアンケート提出を義務化する。</li> <li>・企画運営側、参加者側共に怪我の可能性の無いよう、念入りに会議やシミュレーション、考察を行う。</li> <li>・運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を充分に設けることを徹底する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我人が出た場合に備え、救急箱を用意すると共に、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていく様に車両も用意する。</li> </ul>
--	---

## B案

企画名	大合宿
場所	体育館 1~5会場 参加人数により会場数変更
実施日	2023年度 秋期もしくは冬期
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年や既存の交流の枠を超えた企画に参加することで、自主性や協調性を育み、仲を深める。</li> <li>・コロナ2019の影響で、学年の縦と横の繋がりを例年より持てていない学年が多い為、交流を深める機会を設ける。</li> <li>・学びの企画を通して、将来教員になった際に生かすことができるような知識を得る。</li> <li>・企画に参加することによって、子ども側の視点や考え方を持つことができるため、将来教員になった際の視野を広げることができる。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿当日は、それまでの度重なる会議やシミュレーションの内容に基づき、企画を運営する。</li> <li>・施設との連携をとりつつ、大合宿当日のタイムスケジュールを作成する。</li> <li>・各班の大合宿委員と連携をとりつつ、大合宿当日のタイムスケジュールを管理する。</li> <li>・各企画で会議を行い、その内容を元に全体での会議を週に1度行う。</li> <li>・企画を考案する際は、参加者を第一に考える。主に企画を通して交流関係を築く機会を得ることができるか、人間性の成長の機会を得ることができるか、安全面に配慮できているかの3点を重視する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段関わりの少ない人同士を同じ班に編成することで、学年、クラスの壁を越えた交流関係を築き、また協調性や自主性といった人間的成长の機会を得ることができる。</li> <li>・小学校の校外学習活動の引率のような経験をすることで、教員になった際に役立つ知識を得ることができる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員との連絡を十分に行い、コロナ2019の状況に応じて日付の変更や実施の有無を慎重に検討する。</li> <li>・事前に入念な会議やシミュレーション、考察を行い、万全な状態で当日に臨めるよう準備する。</li> <li>・企画としてレクリエーションを行う以上、「楽しかった」だけで終わらずに、仲間との協調性やコミュニケーションの大切さなど、多くの「学び」を得られるものにする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ2019感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>・アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>・換気による空気の入れ替え、手洗いうがいを徹底する。</li> <li>・コロナ2019発症者との接触がないか、初期症状は見られないか等のコロナウィルスに関するアンケート提出を義務化する。</li> <li>・道具を使う際は、企画物の消毒または使い捨てを徹底する。</li> <li>・飛沫感染や密が起きないよう、レクリエーションが行われている間も常にソーシャルディスタンスを徹底する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画運営側、参加者側共に怪我の可能性が無いよう、入念に会議とシミュレーションを行う。</li> <li>運動時間や参加者の疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> <li>怪我人が出た場合に備え、救急箱を用意すると共に、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていけるように車両も用意する。</li> </ul>
--	---

## C 案

企画名	大合宿
場所	ZOOM
実施日	2024年2月
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年や既存の交流の枠を越えた班で企画に参加することで、委員と参加者双方の自主性や協調性を育む機会を設ける。</li> <li>コロナ 2019 の影響で例年よりも学年の縦と横の繋がりを持てていないことが予想されるため、交流を深める機会を設ける。</li> <li>楽しむだけでなく、学びの要素を取り入れた企画を行うことで、教員になった際に活かすことができる知識を獲得する。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当の企画ごとに会議を行い、その内容の共有や考案のために全体会議を週に 1 度行う。</li> <li>ZOOM で開催することを最大限活用できるような企画考案を行い、実行する。</li> <li>企画考案の際、参加者を第一に考える。主に企画を通じて交流関係を築く機会を得ることができるか、人間性の成長の機会になり得るか、何か将来に役立つ知識を得ることができるかの 3 点を重視する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅から参加できるため、多くの学生が集まり、その分交流関係を持つことのできる幅が広がる。</li> <li>普段関わりの少ない人同士が企画に参加し活動することで、学年の壁を越えた交流関係を築くことができる。</li> <li>協調性や自主性といった人間性の成長機会を得ることができる。</li> <li>オンライン上の活動という不慣れで非日常な体験を通じ、教員になった際に活かすことのできる知識や経験を得ることができる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者に対する明確な休憩時間の伝達や、インターネット環境等の問題による大合宿中の人数変動等の情報共有面を徹底する。</li> <li>昨年度の大合宿の反省点として挙がった、時間管理の徹底に十分留意し、入念なシミュレーションを行う。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ 2019 感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>厚生労働省発行のコロナ 2019 感染対策専門家会議の見解に基づき、30 分に 1 度、数分間の換気時間を設け、参加者に実践してもらう。</li> <li>パソコンと同じ姿勢で長時間見続ける事による参加者の疲労を考慮し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> </ul>

アイスブレイク

企画名	アイスブレイク
場所	体育館
実施日	2023年4月30日
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションを通して、新入生との親交を深める。</li> <li>・レクリエーションを通して、新入生に大合宿入団の足掛かりにしてもらう。</li> <li>・企画進行のノウハウを新2年生に体験してもらう。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク当日は、それまでの会議やシミュレーションの内容に基づき、企画を運営する。</li> <li>・施設との連携をとりつつ、アイスブレイク当日のタイムスケジュールを作成する。</li> <li>・2、3年の委員で連携し、アイスブレイク当日のタイムスケジュールを管理する。</li> <li>・各企画で会議を行い、その内容を元に全体での会議を週に1度行う。</li> <li>・企画を考案する際は、1年生を第一に考える。主に企画を通して交流関係を築く機会を得ることができるか、人間性の成長の機会を得ることができるか、安全面に配慮できているかの3点を重視する。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生に大合宿の活動を口頭で説明をするには限界があるため、実際にどのようなレクリエーションをやっているのか体験してもらうことで、活動内容を理解してもらうことができる。</li> <li>・まだ会って間もない人達を楽しませるための行事の企画・運営を行うことで日常生活では得られない体験をし、教員になってからも活かせる知識や経験を得ることができる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度実施した際に、会場となる体育館への誘導がなく、迷っていた新入生がいたため、各地点に会場への誘導を行う委員を配置する。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ2019感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>・アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>・道具を使う際は、企画物の消毒または使い捨てを徹底する。</li> <li>・コロナ2019発症者との接触がないか、初期症状は見られないか等のコロナウィルスに関するアンケート提出を義務化する。</li> <li>・飛沫感染や密が起きないよう、常にソーシャルディスタンスを徹底する。</li> <li>・怪我の可能性が無いよう、入念に会議とシミュレーションを行う。</li> <li>・運動時間や疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> <li>・怪我人が出た場合に備え、救急箱を用意すると共に、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていけるように車両も用意する。</li> </ul>

## 小合宿

企画名	小合宿
場所	国立那須甲子青少年自然の家
実施日	2023年8月7、8日、もしくは冬季
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を踏まえた企画考案を行うことで、レクリエーションが安全且つ円滑に行えるようにする。</li> <li>・入念な確認を行い、大合宿本番での怪我防止対策や感染症対策をより十分なものに</li> </ul>

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊込みという大合宿に近い環境下でシミュレーションを行い、より参加者の立場に立った対策考案や企画考案を行う。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1泊2日、大合宿に関わる者のみで大合宿当日の流れの確認や企画運営等のシミュレーションを行う。</li> <li>・大合宿本番が安全且つ円滑に行えるよう、各々が考案してきたレクリエーションを委員のみで実践する。</li> <li>・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し雰囲気を掴む。</li> <li>・本番と同じ流れで行い、安全面や感染症対策面にも不足がないか確認する。</li> <li>・その後の会議で小合宿の反省をし、大合宿本番に向けて準備していく。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿本番で臨機応変な対応ができるように準備をしておくことができる。</li> <li>・宿泊込みのシミュレーションを行うことで、大合宿当日の夜間の動きに関する入念な確認ができる。</li> <li>・大合宿当日と同じ施設で行うことで、施設内の把握や施設との連携の確認につながる。</li> <li>・大合宿を円滑に行うために裏方や司会の動きを入念に確認することで、将来教員になった際に活かせる知識と経験が獲得できる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員との連絡を十分に行い、コロナ2019の状況に応じて日付の変更や実施の有無を慎重に検討する。</li> <li>・体調を崩した人が出ることを想定して、薬を用意しておくなど、より十分な対策をする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ2019感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>・アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>・道具を使う際は、企画物の消毒または使い捨てを徹底する。</li> <li>・飛沫感染や密が起きないよう、常にソーシャルディスタンスを徹底する。</li> <li>・怪我の可能性が無いよう、入念に会議とシミュレーションを行う。</li> <li>・運動時間や疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> <li>・怪我人が出た場合に備え、救急箱を用意すると共に、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていけるように車両も用意する。</li> </ul>

### シミュレーション

企画名	シミュレーション
場所	体育館
実施日	2023年6月~2024年2月 最大5回
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践を踏まえた企画考案を行うことで、レクリエーションが安全且つ円滑に行えるようにする。</li> <li>・入念な確認を行い、大合宿本番での怪我防止対策や感染症対策をより十分なものにする。</li> <li>・来年度以降の活動のために、対面での大合宿が行えなくなった場合でも最低1回はシミュレーションを行い、大合宿の雰囲気や流れだけでも新入委員に体験してもらう。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿に関わる者のみで、大合宿本番が安全且つ円滑に行えるように各々が考案し</li> </ul>

	<p>てきたレクリエーションを実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会と裏方、参加者役に分かれ、本番の流れを確認し雰囲気を掴む。</li> <li>・本番と同じ流れで行い、安全面や感染症対策面にも不足がないか確認する。</li> <li>・その後の会議でシミュレーションの反省をし、大合宿本番に向けて準備していく。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大合宿本番で臨機応変な対応ができるように準備をしておくことができる。</li> <li>・大合宿を円滑に行うために裏方や司会の動きを入念に確認することで、将来教員になった際に活かせる知識と経験が獲得できる。</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員との連絡を十分に行い、コロナ2019の状況に応じて日付の変更や実施の有無を慎重に検討する。</li> <li>・体調を崩した人が出ることを想定して、薬を用意しておくなど、より十分な対策をする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ2019感染防止のため、政府のガイドラインに従って、マスク着用の有無は社会情勢や状況に沿って、参加者に判断を委ねる。</li> <li>・アルコール消毒や体温計等、感染対策ができるようなものを準備しておく。</li> <li>・道具を使う際は、企画物の消毒または使い捨てを徹底する。</li> <li>・飛沫感染や密が起きないよう、常にソーシャルディスタンスを徹底する。</li> <li>・怪我の可能性が無いよう、入念に会議とシミュレーションを行う。</li> <li>・運動時間や疲労を考慮して、健康管理対策として水分補給を促し、休憩時間を十分に設けることを徹底する。</li> <li>・怪我人が出た場合に備え、救急箱を用意すると共に、施設近くの病院を把握しておき、すぐ連れていけるように車両も用意する。</li> </ul>

貴団体の申請を受理致しました。

2023年 月 日  
教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_印

# 2023年度 教育学会後援団体補助金予算申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 熊田華凜 印

団体名	教育学会後援団体 大合宿			
団体責任者	学籍番号	21114076	役職名	代表
	氏名	瀬口 宗悟 印		
会計責任者	学籍番号	21114004	役職名	会計
	氏名	熊田 華凜 印		
団体構成	4年0名	3年12名	2年8名	1年1名 合計 20名

いずれの案でも対応出来る様、最も高い予算額（B案）を申請する。

A案 後援助成金予算案総額		634,800円
補助金使用用途及び申請額		
用途	金額	前年度
◎企画運営費 ・企画費 (15,000円×5=75,000円)	小計 75,000円	小計 75,000円
・野外炊事・キャンプファイヤー用具代 10,000円	小計 10,000円	小計 ---円 (前年度未実施)
・交通費 145,000円 施設下見(レンタカー代・ガソリン代・高速道路代) 70,000円 大合宿先発隊 75,000円	小計 145,000円	小計 95,000円
・施設借用費 (シミュレーション代) 47,500円 9,500円×5回分=47,500円	小計 47,500円	小計 27,900円
・医療費 2,000円 絆創膏・消毒薬・傷用薬(軟膏)等	小計 2,000円	小計 1,900円
・文房具代 20,000円 (ガムテープ50個、ラミネートテープ50個、画用紙等)	小計 20,000円	小計 15,000円
・コロナウイルス対策費 3,000円 (アルコール、アルコールシート等)	小計 3,000円	小計 10,000円

・雑費 20,000 円	<u>小計 20,000 円</u>	<u>小計 20,000 円</u>
・小合宿費（内容下記参照） 312,300 円	<u>小計 312,300 円</u>	<u>小計 275,800 円</u>
	<u>合計 634,800 円</u>	<u>合計 526,600 円</u>

B案 後援助成金予算案総額		681,300 円
補助金使用用途及び申請額		
用途	金額	前年度
◎企画運営費	<u>小計 75,000 円</u>	<u>小計 75,000 円</u>
・企画費 (15,000 円×5=75,000 円)	<u>小計 150,000 円</u>	<u>小計 90,000 円</u>
・交通費 150,000 円 施設下見（レンタカー代・ガソリン代・高速道路代） 15,000 円×5 会場=75,000 円 大合宿先発隊 15,000 円×5 会場=75,000 円		
・医療費 2,000 円 絆創膏・消毒薬・傷用薬（軟膏）等	<u>小計 2,000 円</u>	<u>小計 1,900 円</u>
・施設借用費 (シミュレーション代) 47,500 円 9,500 円×5 回分=47,500 円	<u>小計 47,500 円</u>	<u>小計 27,900 円</u>
・文房具代 20,000 円 (ガムテープ 50 個、ラミネートテープ 50 個、画用紙等)	<u>小計 20,000 円</u>	<u>小計 15,000 円</u>
・施設借用費 47,500 円 (9,500 円×5=47,500 円)	<u>小計 47,500 円</u>	<u>小計 46,500 円</u>
・コロナウイルス対策費 7,000 円 (アルコール、アルコールシート等)	<u>小計 7,000 円</u>	<u>小計 15,000 円</u>
・雑費 20,000 円	<u>小計 20,000 円</u>	<u>小計 20,000 円</u>
・小合宿費（内容下記参照） 312,300 円	<u>小計 312,300 円</u>	<u>小計 275,800 円</u>
	<u>合計 681,300 円</u>	<u>合計 573,100 円</u>

C案 後援助成金予算案総額	312,300 円	
補助金使用用途及び申請額		
用途	金額	前年度
・小合宿費（内容下記参照）312,300 円	小計 312,300 円	小計 275,800 円

小合宿 後援助成金予算案総額	312,300 円
補助金使用用途及び申請額	
用途	金額
・宿泊費 60,000 円 (1,500 円×40 人=60,000 円)	小計 60,000 円
・シーツ・枕カバークリーニング (300 円×40=12,000 円)	小計 12,000 円
・食費 野外炊飯 (600 円×40×2 日=48,000 円) 薪 (600 円×6 班=3,600 円)	小計 51,600 円
・野外炊事・キャンプファイヤー用具代 3,000 円	小計 3,000 円
・交通費 130,000 円 バス代（片道 110,000 円） 有料道路代金(片道 20,000 円)	小計 130,000 円
・小合宿先発隊 55,000 円	小計 55,000 円
・運転手接待 700 円	小計 700 円
	合計 312,300 円
	合計 275,800 円

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2023年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 木村大樹 印

団体名	教育学会後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	21114081	役職名	代表
	氏名	木村 大樹		
副責任者	学籍番号	21114061	役職名	副代表
	氏名	竹田 華		
団体構成	4年 0名	3年 10名	2年 17名	1年 0名 合計 27名

団体構成メンバー ( 2023年 5月 11日現在)

3年生

木村 大樹 21114081  
竹田 華 21114061  
川島 沙紀 21114045  
佐野 雄大 21114085  
弦巻 秀 21114023  
佐々木 武 21114075  
下境 茉光 21114131  
長沢 幹太 21114005  
木場 誠義 21114099

2年生

宮城 葵衣 22114035  
高橋 賢人 22114110  
大久保 夏奈 22114050  
寺下 杏 22114056  
西岡 大輝 22114044  
加藤 春音 22114016  
根本 和歩 22114083  
儘田 涼平 22114065  
新井 はるな 22114052  
東山 歩侑 22114030  
新山 莉子 22114033  
白石 拓夢 22114087  
公文 創 22114069  
天笠 空海 22114079  
角田 さら 22114013  
久保 蓮 22114081  
大場 みなみ 22114097

## 活動計画案・企画案

企画名	球技大会
場所	・秋季大会...緑山キャンパス (予定) ・冬季大会...東松山キャンパス(体育館) (予定)

実施日	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋季大会 9月上旬予定（予備日 10月上旬予定）</li> <li>冬季大会 12月上旬予定（予備日 1月下旬予定）</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>同学年、他学年と交流する機会を作る。</li> <li>体を動かす機会を提供する。</li> <li>スポーツや運動、健康に関する企画を体験し実感することで、将来の糧となるような知識を身に付ける。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋と冬の2回、球技大会を開催予定。</li> <li>2022年度の大会事後アンケートを参考に、各大会の種目や企画を決定する。</li> <li>シミュレーションや会議を通して、未経験者や経験者に関係なく、すべての参加者が楽しめるような球技大会ならではの種目やルールを決める。</li> <li>球技大会時に、スポーツや運動、健康に関連した企画を行う。</li> </ul>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを通して同学年、他学年と交流し、親睦を深める。</li> <li>健康な身体作りの重要性を再認識し、自らの健康管理に关心を持たせる。</li> <li>私生活、学校生活では体験できないような企画や実践的な活動を通して、視野を広げると共に、より一層深い学びを得る。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>球技大会の開催を参加者に早く通知する。</li> <li>マイク等の音響設備を予め確認しておく。</li> <li>大会の日程を決めるにあたっての相談を、運営委員やスポーツ振興センターの方としっかりと行う。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急用具を豊富に用意し、適切な手当てができるようにしておく。</li> <li>保健係だけでなく全員が、けが人が出た際の搬送病院や、対応について理解しておく。</li> <li>熱中症や防寒の対策を、各自しっかりと行うように参加者に呼びかけをする。</li> <li>種目を行う前の準備体操を入念に行い、さらに各自での実施も促す。</li> <li>新型コロナウイルスの感染拡大防止のために手洗いうがいアルコール消毒、検温の実施の徹底を行う。</li> <li>密にならないように観戦している人は社会的距離を保つてもらい、委員が密にならないよう促す。</li> <li>マスクの着脱は特に制限せず、参加者に判断をゆだねる。至近距離での会話や参加者が密集している場などでは、マスクの着用を心掛けるように委員が促す。</li> <li>参加者のアルコール消毒を徹底する。</li> </ul>

貴団体の申請を受理致しました。

2023年 月 日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_印

# 2023年度 教育学会補助金予算申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 川島沙紀 印

佐野雄大 印

団体名	教育学科後援団体 球技			
団体責任者	学籍番号	21114081	役職名	代表
	氏名	木村 大樹		
会計責任者	学籍番号	21114045	役職名	会計
	氏名	川島 沙紀		
団体構成	学籍番号	21114085	役職名	会計
	氏名	佐野 雄大		
団体構成	4年 0名 3年 10名 2年 17名 1年 0名	合計 27名		

後援助成金予算案総額 161,400円

補助金使用用途及び申請額

用途	金額
企画運営費 ・印刷代 2円×3,520枚=7,040円 委員用しおり 400枚 / 委員用ルールプリント 320枚 参加申込用紙 1,000枚 / 参加者用しおり 1,500枚 / 参加者用アンケート用紙 300枚	小計 7,040円
・緊急車両（レンタカー） / ガソリン代 2台 20,000円×2回=40,000円	小計 40,000円
・ボール代 3,560円 タグラグビーボール 2個	小計 3,560円
・タグベルト/タグ代 30,000円 ベルト 40個 / タグ 80本	小計 30,000円

・審判用の旗 10本 2,700円	
・球技大会企画費 30,000円	<u>小計 2,700円</u>
企画 10,000円	<u>小計 30,000円</u>
賞説明 10,000円	
ルール説明 10,000円	
・医療代 3,000円	<u>小計 3,000円</u>
湿布 / 紼創膏 / マキロン	
・シミュレーション代 (川越総合運動公園予定) 19,500円	<u>小計 19,500円</u>
競技場 6,000円 体育館 13,500円	
・文房具代 7,000円	<u>小計 7,000円</u>
養生テープ4個 / 布テープ4個 / 模造紙1個 / 白画用紙3部	
・参加者景品代、ドリンク代 8,600円	<u>小計 8,600円</u>
・雑費 10,000円	<u>小計 10,000円</u>
	<u>合計 161,400円</u>

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2023年度 教育学会後援団体活動申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 筑比地秀斗 印

団体名	教育学会後援団体 コンサート			
団体責任者	学籍番号	21114092	役職名	代表
	氏名	筑比地 秀斗		
副責任者	学籍番号	21114038	役職名	副代表
	氏名	清水 悠貴		
団体構成	4年7名	3年3名	2年7名	1年0名 合計17名

## 団体構成メンバー (2023年5月11日現在)

### 4年生

藤井 遥 20114024  
照井 龍之丞 20114028  
笹岡 碩生 20114059  
尾崎 多佳子 20114076  
小菅 美怜 20114084  
柿迫 紗乃 20114111  
川崎 慶太 20114130

### 3年生

清水 悠貴 21114038  
筑比地 秀斗 21114092  
永嶋 信一郎 21114113

### 2年生

宮崎 隼成 22114002  
田野 五星 22114020  
須貝 菜央 22114046  
有賀 沙也可 22114049  
宮下 栄人 22114078  
遠矢 春乃 22114107

## 活動計画案・企画案

企画名	第 47 回教育学科コンサート  「個性を魅せろ！～みんなで創るオンリーワンのコンサート～」
場所	東松山キャンパス 60 周年記念講堂（予定）
実施日	2023 年 11 月 11 日（土）（予定）
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが音楽を楽しむことで、個々の音楽活動への関心を高める。</li> <li>・音楽授業の成果を発表する。</li> <li>・学会員が主体となって協力し、発表を作り上げる。</li> <li>・学科内でクラス学年を超えた交流を深める。</li> <li>・共催実行委員会の成果を生かしてコロナ以前の学科内の繋がりを取り戻す。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番が円滑に進むよう会議（週 1 回）、会場設営、リハーサルを行う。</li> <li>・共催実行委員会を通してコロナ禍以前に行われたコンサートを取り戻す。</li> <li>・参加者が楽しく、学びある行事づくりに努める。</li> <li>・本番当日は各団体の発表の運営を行う。</li> </ul> <p>※感染状況によって内容は変化する。動画の上映のみ/演奏は実演、など。</p>
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのものをみんなで協力し作り上げることで、感動や達成感を共有する。</li> <li>・クラス単位での交流を深める。</li> <li>・学科の活動として、教育学科の団結力を高める。</li> <li>・一つの作品を作る過程を通して、日常的な学級づくりや音楽会、学芸会などを運営する力を養う。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番までにしっかりとリハーサルを行う。</li> <li>・各団体や参加者と十分な連絡を取る。</li> <li>・タイムスケジュールの管理に関して、ゆとりのある時間設定をする。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救急箱の準備をし、けが人が出た場合に備える。</li> <li>・講堂内の空気の循環のために、換気を行う。</li> <li>・委員、来場者の消毒・検温を実施する。</li> <li>・座席の間隔をあける。</li> </ul>

- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・来場者の名簿を作成し、座席指定しコロナ追跡を行う。</li><li>・出演者は発表時、マスク・フェイスシールドを着用する。</li><li>・楽器、小道具等の消毒を適宜行う。</li></ul> <p>※感染状況に応じた対策を整備する。</p> |
|--|---|

貴団体の申請を受理致しました。

2023年　月　日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_印

# 2023年度 教育学会補助金予算申請案

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年5月11日

申請者 永嶋信一郎 印

団体名	教育学科後援団体コンサート			
団体責任者	学籍番号	21114092	役職名	代表
	氏名	筑比地 秀斗 印		
会計責任者	学籍番号	21114113	役職名	会計
	氏名	永嶋 信一郎 印		
団体構成	4年 7名 3年 3名 2年 6名 1年 0名	合計 16名		
案補助金使用用途及び予算申請案				188,300円
用途	金額			
・広告（パンフレット、ポスター等）74円×300部=22,200円	小計 22,200円			
・オープニングアクト代 5,000円	小計 5,000円			
・文房具代 20,500円 (銀テープ 15個/布ガムテープ 10個/紙ガムテープ 2個/テープのり 5個/八つ切り画用紙 16枚入り 1個/ビニールテープ白 3個、赤 2個/模造紙 30枚 油性マーカー黒 10本、青 10本、緑 5本、赤 3本/データ保存用USB 2個)	小計 20,500円			
・来賓費 5,600円 (花束代 1,500円×2束=3,000円／お弁当代 800円×2個=1,600円 お茶・お茶菓子代 1,000円)	小計 5,600円			
・横看板製作費 20,000円	小計 20,000円			
・映像関係制作費・機材購入費（カメラ等） 50,000円	小計 50,000円			
・新型コロナウイルス対策費（アルコール消毒液等） 15,000円	小計 15,000円			
・緊急車両代（レンタカー）10,000円	小計 10,000円			
・雑費 40,000円	小計 40,000円			
	合計 188,300円			

貴団体の申請を受理致しました。

年 月 日

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

教育学会会計 \_\_\_\_\_ 印

# 2023年度 共催行事実行委員会提案書

申請先 教育学会運営委員会

申請日 2023年 5月 11日

申請者 川崎慶太 印

## [概要]

後援団体コンサートの上位組織として「教育学科・共催行事実行委員会」(以下 共催行事実行委員会)の設置を提案する。これは後援団体コンサート及び運営委員会の合意の上での共同提案である。

共催行事実行委員会とは、教員（中村（清）先生、関井先生、塩崎先生）とコンサート委員4年を中心とした学生を構成員とする組織であり、主としてコンサートの企画、仕組みの検討等を行うことを目的としている。教員と学生が「ともに語り合う場を作る」ことを軸にコンサート本番まで準備していく。なお、コンサート本番の会場設営等の実務に関しては、従来通りコンサートがその役割を受け持つ。

## [解決策としての設置の経緯]

これまで、コンサートは学科行事であるにも関わらず、教員と学生とが運営や実務において定期的かつ継続的に話し合う場を設けていなかった。そのため、教員と学生間での話し合いの機会が乏しく、意見の食い違いや直前での設備変更指示などの問題が度々生じていた。

このような課題を踏まえて、教員と学生とが対等な関係で建設的に議論できる場を設け、意思疎通と情報共有を計るとともに、コンサートの質の向上と新たな試みを検討するための場が必要だという認識に至った。そこで「教育学科・教育学会共催行事実行委員会」を発足させることを提案したい。

## 「行事の意義・目的」

コンサートの行事としての意義と目的を改めて提示し、以下の理念の下で活動を行う事を周知したい。

1つ目は 文化と共同を学ぶ行事として成功させる。

2つ目は 教育学科の各学年の学修成果を発表する。（入門期から～集大成まで。）

3つ目は 芸術科目群を主とした学修成果を発表する。

これらは大東文化大学教育学科生が参加することを念頭に置いた意義・目的である。

## 「23年度学科・学会共催行事の概要（案）」

今年度のコンサートは、コロナ禍以前のコンサートができる限り、踏襲する形で進めていくことを提案したい。

前年度は、引継ぎが上手くいっておらず、暗中模索で開催まで漕ぎついたのが実情であった。今年度は、まず引継ぎの部分を見直し、19年度卒業生のコンサートOBの方から過去のデータをもらうことで、以前までのコンサート委員の動きについてのノウハウを得た。その得たノウハウを実践として盤石なもの

のにするべく、今年度はできるかぎり従来の形の追求を第一に開催準備を進める。

その他、合意した内容は以下の通りである。

「コンサート（ミュージック＆ダンス）」

- ・楽器演奏・歌唱などの音楽表現を主とし、身体表現の発表も正式に認めるものとする。
- ・テーマは、コンサート内で原案を作り、共催行事実行委員会が総会で提案するものとする。また、テーマの位置づけは審査基準としての役割も担う。
- ・コンサート本番のクラス編成として1年はクラス毎、2年以上は合同クラスにする。なお合同クラスの組み方は履修状況から合理的にコンサート委員が決定する。
- ・テーマに即した各学年の小テーマを、コンサート内で原案を作り、共催行事実行委員会から提案する。今年度のテーマは以下のものとする。

『個性を魅せろ！みんなで創るオンリーワンのコンサート』

評価基準：個性・協同・創造

このテーマは評価基準に準ずる形で作成されている。

審査基準の「個性」はテーマ内の『個性』と対応しており、クラスや個人、またそのパフォーマンス全体として、それぞれの個性を表現するほか、喜怒哀楽などの感情、構成の工夫、動きのクリエイティビティ等を示している。「協同」というのはテーマ内の『みんなで創る』と対応しており、作成段階やパフォーマンスとして、演者が一体となりひとつのものをともに作り上げることを示している。「創造」というのは『創る／オンリーワン』と対応しており、既存の演出や模倣ではなく、自らで生み出した独創的なものや、唯一無二の作品などを示している。上記の評価基準を踏まえ、今年度の第47回教育学科コンサートのテーマとする。

貴団体の申請を受理致しました。

2023年 月 日

教育学会運営委員会委員長 \_\_\_\_\_ 印

第4号議案  
2023年5月11日(木)  
報告者 古畠 歳景

## 運営委員会発行「緑育」、及び総会資料のデジタル化の提案

現在運営委員会が発行毎月発行している「緑育」、及び総会学会員に提示する各資料について、ペーパーレス化の社会時流に鑑み、令和5年度以降デジタル化することを提案する。

## 二年生（計11名）

	2-A 弓削 真波（副委員長） よりよい教育学科を目指し、精一杯頑張ります		2-A 發知 里世音 運営委員として責任を持ち活動に取り組みます。
	2-B 木瀧 大夢 教育学科の皆さんために精進していきます。		2-B 矢谷 蓮 行雲流水 よろしくお願ひします。
	2-C 遠矢 春乃（会計） 教育学科がより良いものになるよう献身的に務めてまいりたいと思います。 よろしくお願ひします。		2-D 杉澤 主税（書記） 運営委員会として責任を持って教育学会を盛り上げていきます！よろしくお願ひします。
	2-D 小川 祐哉（書記） 教育学科をよりよくしていけるよう、精一杯頑張ります！		2-D 富田 実乃梨 教育学科をより良くするために精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

## 二年生（計11名）

	<p>2-D 青木 栄斗</p> <p>精一杯頑張りますので よろしくお願ひします。</p>		<p>2-E 種田 貴志</p> <p>皆さんの役に立つような 活動をして、教育学科を 盛り上げたいと思います。 ご協力よろしくお願ひし ます！</p>
	<p>2-F 山口 直</p> <p>運営がんばります。</p>		

## 三年生（計7名）

	<p>3-A 小室 衆吉（副委員長）</p> <p>学会員のみなさまが楽しく、学びに満ちた生活を送れるよう努めます。よろしくお願ひします。</p>		<p>3-A 和田 竜（会計）</p> <p>運営委員として今までの活動を見直し、よりよい皆さんの学びのきっかけを作れるように頑張ります。よろしくお願ひします。</p>
	<p>3-B 大豆生田 愛生（学会誌）</p> <p>運営委員として、学会員のみなさまの大学生活がよりよいものとなるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。</p>		<p>3-C 高原 凜</p> <p>運営委員としてまだまだ未熟な点も多いと思いますが、教育学科がより良いものになるよう努めていきますのでよろしくお願ひします。</p>
	<p>3-D 林田 幹大</p> <p>クラスの代表として、みんなが円滑に動けるように精一杯努力致します。よろしくお願ひします。</p>		<p>3-E 畠山 陽那太（緑育）</p> <p>運営委員会の一員として責任感を持ち、教育学会に貢献できるように自分が出来ることを全力で取り組んでいきたいと思います。</p>
	<p>3-F 古畠 歳景（委員長）</p> <p>運営委員の古畠歳景です。教育学科の活動を盛り上げていけるよう、全力で活動していきます。よろしくお願ひ致します。</p>		